

日本地衣学会 ニュースレター

No.113

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

目次	活動報告	417
	日本地衣学会第9回観察会（島根県益田市匹見町奥匹見峡，広島県北広島町臥竜山，八幡原公園）の報告 / 高橋 奏恵	417
	第9回地衣学会観察会に参加して / 吉田 進	418
	日本地衣学会第9回観察会（島根県匹見峡・広島県臥龍山）で観察された地衣類 / 高橋 奏恵・原田 浩・松本 達雄	419

活動報告 Reports of the JSL Activities

第9回観察会（島根県益田市匹見町奥匹見峡・広島県北広島町臥竜山・八幡原公園）の報告

Report of the 9th JSL Field Meeting at Okuhikimikyou, hikimi-cho, Masuda-shi, Shimane-ken and Garyuuzan, Kitahiroshima-cho, Hiroshima-ken, Japan/ by TAKAHASHI Kanae

>>> 高橋 奏恵：地域活性化委員会 中国・四国

標記観察会は以下のとおり実施したので報告いたします。

* * *

開催日：2010年10月2日（土），3日（日）

場所：（2日）島根県益田市匹見町奥匹見峡

（3日）広島県北広島町臥龍山，八幡原公園

講師：原田浩氏（千葉県立中央博物館）

参加者：12名（講師を含む）

* * *

初日の会場となった匹見峡は，島根県南西部に位置する溪谷で，主要景勝地は前匹見峡，表匹見峡，裏匹見峡，奥匹見峡の四地区に分かれています。今回の観察会では裏匹見峡を会場とし，匹見峡レストパーク内のキャンプ場や遊歩道沿いの地衣類を観察しました。キャンプ場では，まず入門編として，ウメノキゴケ属 *Parmotrema*，マツゲゴケ属 *Rimelia*，トコブシゴケ属 *Cetrelia*などの比較的目につきやすい大形葉状地衣類の説明が原田講師によって行われ，参加者の皆さんはルーペで熱心に確認していました（図1）。続いてキャンプ場を奥に進み，遊歩道へ向かいました。遊歩道は溪谷沿いに付けられており，ハイキング程度の軽装備で気軽に歩ける，よく整備された道となっています。遊歩道に

入ると，溪流沿いの岩場にはアナイボゴケ属 *Verrucaria*，マルゴケ属 *Porina*，マンシュウゴケ属 *Strigula*の仲間が見られました（図2）。原田講師の解説を聞きながら，葉状，痾状，樹状の幅広い分類群の地衣類を観察することができました。このたびの宿泊場所となった匹見峡レストパークさんのご厚意で，ケビンを余分に一棟使用させていただくことができたので，夕食をとった後には実体顕微鏡でこの日観察された地衣類をくわしく観察しました。



図1. 大形葉状地衣類の観察



図2. 溪流沿いの岩場での観察

二日目は臥龍山へ向かいましたが、あいにく土砂降りの中での観察会となってしまいました。車で八合目ま

第9回地衣学会観察会に参加して

Travel note of the 9th JSL Field Meeting at Okuhikimikyou, hikimi-cho, Masuda-shi, Shimane-ken and Garyuuzan, Kitahiroshima-cho, Hiroshima-ken, Japan (2-3 Oct. 2010) / by Yoshida Susumu

私は、自然観察が好きで愛車のRAV4にキャンプ道具、観察道具、図鑑、釣り道具、その他（ビールなども）を積み込み、住まいのある広島を中心に出歩いています。地衣類には以前から興味があり機会があれば覗いてみたい世界でした。冬でも観察可能なのが魅力です。何にも見つからないようなときでも何らかの地衣類が立ち木にへばりついているのを良く目にします。これらとお近づきになりたいと常々思っていました。でも、何となく難しそうで、敷居が高い存在でした。

ところが、今年はいろいろと機会が巡ってきました。最初は、メール会員に登録しているヒコピア会から60周年記念シンポジウムを開催するという案内でした。今年の8月中旬のことです。これまでヒコピア会の催しには参加したことはなく植物観察会の様子をメールで受け取っているだけでしたが、今回は60周年記念とあって何か面白い話しか聞けそうな予感がしました。シンポジウムでは、地衣類の話と藻類の話が面白く印象に残りました。私は普段はきのこの観察を中心に自然観察しているのですが、所属している広島きのこ同好会からのメールで「不思議な地衣類の世界」という催しが広島県緑化植物公園（通称「緑化センター」）であるという案内

で向かい、そこから徒歩で登山道沿いに山頂部周辺の地衣類を観察しました。一向に雨脚が弱まらない中、傘をさしながら歩きづらく、しかも薄暗くて地衣類が見えづらい中での観察会となってしまいました。参加者の皆さんは音を上げることなく最後まで歩き続けてくださいました。続いて、麓の八幡原公園へ移動しましたが、ここでも相変わらずの雨模様でした。しかし、時間がたつと少し雨が弱くなり、時折薄日が差しこむ中、公園内のサクラやクヌギの樹皮に着生した地衣類を観察しました。かなりの雨が降り、参加者・講師共々大変な二日目となってしまいましたが、皆様のお陰で何とか無事観察会を終えることができました。今回の地衣学会観察会はヒコピア会へも案内を掲載させていただきました。メーリングリストへの掲載にご協力いただきました広島大学宮島自然植物実験所の坪田博美准教授に感謝申し上げます。

>>> 吉田 進

を次に受け取りました。8月の終わりのことです。これにも早速参加しました。緑化センターの研修室で地衣類の構造などについての解説を聞いた後、園内で地衣類の観察です。いたるところに地衣類が観察され、ウメノキゴケ、マツゲゴケなどを教えていただきました。今年は、不思議なことに地衣類の案内がさらに続きます。ヒコピア会のメールの転送で10月の地衣学会観察会の案内をいただいたのです。開催地は私の知る限りとびきり自然の美しい場所です。ひとつは島根県の匹見峡。もうひとつは広島県の臥龍山です。どちらも私の好きなおとこで、私の庭（・・・みたいなおとこ）です。これは何としても参加せねばと思いました。全くの初心者がいきなり学会の観察会に参加しても、専門家の足手まといになるかもしれないとは思いましたが、好奇心には勝てません。ダメもとで参加申込みをしたところ、ラッキーなことに参加しても良いとの返事をいただきました。

第1日目は匹見峡での観察。驚いたことに私のような初心者のためのコースがきちんと用意されているではないですか。原田先生による丁寧な解説を受けながら観察できるのです。集合場所である匹見峡レストセンターの駐車場の石垣から早速解説が始まりました。ここで、

ヘリトリゴケ、イワカラタチゴケなどを教えていただきました。次に、キャンプ場内の立ち木へ移動し、センシゴケ、トゲトコブシゴケなどを、渓谷の川沿いに続く遊歩道では、ヒメセンニンゴケなどを教えていただきました。ヒメセンニンゴケはピンクの子器をもつかわいらしい地衣だと思いました。その日の夜は、懇親と観察のために借りた山荘でコタツを囲んで観察です。ビールなどをいただきながら、トコブシゴケの3種(チチレ・トゲ・コフキ)の見分け方などの復習をしました。第2日目は、あいにくの雨でしたが、臥龍山に登りました。とはいってもこの山には9合目付近までりっぱな道路ができていますから、そこから頂上を目指して登り、尾根を経由して下って駐車場へと戻ってくるコースを進みます。ここでヤリノホゴケ、アンチゴケなどを観察しました。次に、ふもとの八幡高原へ移動し、園内の立ち木を観察します。ここで、ダイダイゴケ、オリーブゴケモドキなど

を教えていただきました。観察会の終わる頃、ようやく雨が上がり、陽が差してきました。参加者から記念撮影しようという声があがり、赤い子器をつけた地衣の群生していた藁葺き屋根の小屋の前で記念撮影して散会となりました。

原田先生からは沢山の種を教えていただきましたが、実は私の頭は第1日目の途中からすでにオーバーフローしてしまいました。でも、あんなところを観察したなあという体験と、忘れまいとして必死に書きとめた沢山の種名のメモと、採集してきたサンプルが手元にあります。私にとっては大収穫です。今年の冬はコタツで暖まりながら採集したサンプルをひとつずつ観察してみるつもりです。原田先生はじめ地衣学会のみなさん、ご指導ありがとうございました。とても有意義な地衣類のイントロダクションになりました。機会があればまた参加させてください。

第9回地衣学会観察会（島根県匹見峡・広島県臥龍山）で観察された地衣類

List of lichens observed during the 9th JSL Field Meeting at Hikimikyo Gorge, Shimane-ken, and Mt. Garyu, Hiroshima-ken, western Japan (2 and 3 Oct. 2010) / by Takahashi Kanae, Harada Hiroshi, Matsumoto Tatsuo

>>> 高橋 奏恵・原田 浩・松本 達雄

1. 匹見峡（1日目）/ Hikimi-kyo Gorge, Shimane-ken

Anaptychia isidiza Kurok. トゲヒメゲジゲジゴケ
Anzia ornata (Zahlbr.) Asah. コフキアンチゴケ
Anisomeridium sp. ニセゴマゴケ属の一種
Chaenotheca sp. ホソピンゴケ属の一種
Cetrelia braunsiana (Müll.Arg.) W.L.Culb. & C.F.Culb. トゲトコブシゴケ
Cetrelia japonica (Zahlbr. ex Yasuda) W.L.Culb. & C.F.Culb. チチレトコブシゴケ
Cetrelia monachorum (Zahlbr.) W.L.Culb. & C.F.Culb. コフキトコブシゴケモドキ
Cetrelia nuda (Hue) W.L.Culb. & C.F.Culb. トコブシゴケ
Chaenotheca chrysocephalla (Turner ex Asah.) Th.Fr. キンイロホソピンゴケ
Chiodecton congestulum Nyl. ヒョウモンメダイゴケ
Cladonia ochrochlora Flörke キツネゴケ
Coccotrema cucurbitula (Mont.) Müll.Arg. アナツブゴケ
Collema subflaccidum Degel. トゲカワホリゴケ
Cresponea macrocarpoides (Zahlbr.) Egea & Torrente ニセカシゴケ
Dibaeis absoluta (Tuck.) Kalb & Gierl ヒメセンニンゴケ
Flavoparmelia caperata (L.) Halev. キウメノキゴケ

Graphis cognata Müll.Arg. ツツジノモジゴケ
Heterodermia japonica (M.Sato) Swinscow & Krog クロアシゲジゲジゴケ
Heterodermia microphilla (Kurok.) Skorepa チチレウラジロゲジゲジゴケ
Heterodermia obscurata (Nyl.) Trevis. キウラゲジゲジゴケ
Leiorreuma exaltatum (Mont. & Bosch) Staiger ヘルトリモジゴケ
Leptogium burnetiae C.W.Dodge
Lobaria spathulata (Inumaru) Yoshim. ヘラガタカフトゴケ
Lobaria crassior Vain. チチレコヨロイゴケ
Megalospora tuberculosa (Fée) Sipman オオコケボシゴケ
Menegazzia nipponica K.H.Moon コフキフクレセンシゴケ(ヤマトクダチイ)
Menegazzia terebrata (Hoffm.) A.Massal. センシゴケ
Myelochroa irrugans (Nyl.) Elix & Hale ウチキウメノキゴケ
Ochrolechia parellula (Müll.Arg.) Zahlbr. イワニクイボゴケ
Parmelia isidioclada Vain. ヤスダゴケ(ヤスダウメノキゴケ)
Parmelia praesquarrosa Kurok. ナメラカラクサゴケ

Parmelinopsis minarum (Vain.) Elix & Hale トゲウ
メノキゴケ
Pertusaria sp. トリハダゴケ属の一種
Porina sp. マルゴケ属の一種
Porpidia albocaerulescens (Wulfen) Hertel &
Knoph var. *albocaerulescens* ヘリトリゴケ
Ramalina conduplicans Vain. カラタチゴケ
Ramalina yasudae Räsänen イワカラタチゴケ
Rimelia clavulifera (Räsänen) Kurok. マツゲゴケ
Strigula aquatica H.Harada サワマンジュウゴケ
Thelotrema nipponicum Tat.Matsumoto キンチャ
クゴケ
Thelotrema similans Nyl.
Trapelia sp.
Verrucaria sp. アナイボゴケ属の一種

2. 臥龍山登山道 (2日目) / Mt. Garyu, Hiroshima-ken

Anaptychia palmulata (Michx.) Vain. ヒメゲジゲジ
ゴケ
Anzia opuntiella Müll.Arg. アンチゴケ
Brigantiaea ferruginea (Müll.Arg.) Kashiw. &
Kurok. サビイボゴケ
Cetrelia braunsiana (Müll.Arg.) W.L.Culb. &
C.F.Culb. トゲトコブシゴケ
Cetrelia japonica (Zahlbr. ex Yasuda) W.L.Culb. &
C.F.Culb. チチレトコブシゴケ
Cladonia coniocraea (Flörke) Spreng. ヤリノホゴケ
Cladonia ochrochlora Flörke キツネゴケ
Graphis proserpens Vain. セスジモジゴケ
Heterodermia microphylla (Kurok.) Skorepa チチ
レウラジロゲジゲジゴケ
Lecanora japonica Müll.Arg.
Lecanora megalocheila (Hue) H.Miyaw.
Lobaria sp. カプトゴケ属エヒラゴケ類の一種
Menegazzia terebrata (Hoffm.) A.Massal. センシゴ
ケ
Parmelia laevior Nyl. テリハゴケ
Parmelia praesquarrosa Kurok. ナメラカラクサゴケ

Peltigera polydactylon (Neck.) Hoffm. モミジツメ
ゴケ
Pseudopyrenula cinereoglaucescens Vain. ブナノ
モツレサネゴケ
Thelotrema lepadinum Ach.

3. 八幡原公園 (2日目) / Yawata-hara Park, Hiroshima-ken

Agonimiella pacifica H.Harada マユゴケ
Anaptychia palmulata (Michx.) Vain. ヒメゲジゲジ
ゴケ
Anaptychia isidiza Kurok. トゲヒメゲジゲジゴケ
Caloplaca flavorubescens (Huds.) J.R.Laundon
ダイダイゴケ
Candelaria concolor (Dicks.) Stein. ロウソクゴケ
Cetrelia braunsiana (Müll.Arg.) W.L.Culb. &
C.F.Culb. トゲトコブシゴケ
Collema complanatum Hue カワホリゴケ
Collema leptaleum Tuck. イズカワホリゴケ
Collema subflaccidum Degel. トゲカワホリゴケ
Flavoparmelia caperata (L.) Hale キウメノキゴケ
Hypotrachyna revoluta (Flörke) Hale ハコネゴンゲ
ンゴケ
Lecanora megalocheila (Hue) H.Miyaw.
Lecanora pulverulenta Müll.Arg. コナイボゴケ
Maronea constans (Nyl.) Hepp アオチャゴケ
Melanelia huei (Asah.) Essl. オリーブゴケモドキ
Myelochroa hayachinensis (Kurok.) Elix & Hale
ハヤチネウメノキゴケ
Myelochroa metarevoluta (Asah.) Elix & Hale コフ
キチヨロギウメノキゴケ
Pannaria lurida (Mont.) Nyl. テツイロハナヒラゴケ
Phaeophyscia rubropulchra (Degel.) Essl. コナア
カハラムカデゴケ
Physconia grumosa Kashiw. & Poelt ハクフンゴケ
Protoblastenia sp. ニセザクロゴケの一種
Punctelia borreii (Sm.) Krog ハクテンゴケ
Pyrenula sp. サネゴケ属の一種
Rinodina sp. ビスケットゴケ属の一種

●複製される方へ

本誌に掲載された著作物を複製したい方は、許諾を受けてくだ
さい。詳細は本誌 102号 378ページに。

●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or
your organization must obtain permission. For details, see
No.102, p.378 of this publication.

●Newsletter from the Japanese Society for Lichenology,
no. 113, pp. 417-420; eds. Harada H. & Kinoshita K.,
published by the Japanese Society for Lichenology,
19 Mar. 2012.

日本地衣学会ニュースレター 113号

発行日：2012年 3月 19日

編集：原田 浩・木下 薫

発行者・発行所：日本地衣学会

〒204-8588 東京都清瀬市野塩2-522-1

明治薬科大学・生薬学教室内

©2012 日本地衣学会 (© 2012 The Japanese Society for Lichenology)

本誌記事の著作権は日本地衣学会に属します。無断転載・無断複製等は固くお断りいたします。